

事務事業名	ヤマザクラの花咲く里事業	事務事業No.	20101001001	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
まち・ひと・しごと創生総合戦略のさくらがわ地域DMO形成プロジェクトの1事業。平成29年から10年間のまちづくりの指針となる「桜川市第2次総合計画」に基づき、新規計画「ヤマザクラと市民の幸せを咲かせるプロジェクト」にも位置付け開始された。令和2年度より市内の小学校・義務教育学校全てで実施。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
学校から苗木の扱いが難しい、教育カリキュラムとの兼ね合いで時間が取りづらい等多数の相談が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画の「ヤマザクラと市民の幸せを咲かせるプロジェクト」として位置付けられている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童が郷土のヤマザクラに関心を持ち、種を拾い、種蒔きをして育てることをとおして、郷土を愛する心を育てることを目的としている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 自然のものなので、種や環境によって年度ごとに差異が発生する。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ヤマザクラを通しての「桜川への郷土愛」を育むことが難しくなる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ヤマザクラの知識を有する者がいないと成り立たない事業なので、保勝会だけではなくヤマザクラ課所管事業との連携・統合も考えられる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 経費については必要最低限で実施をしているため削減余地はない。実施方法に起因する業務時間の削減については、ヤマザクラ課と連携を図ることで削減余地はある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全ての小学校(3・4年)の児童に取り組む事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	結果が出るまでに時間がかかる事業だが、種蒔きや移植・植樹に参加した児童たちは楽しんでいった様子だった。 また、令和2年度から全ての小学校、義務教育学校で種まきを実施しているが、地植えや記念植樹をするスペースがないと各学校から相談があった。 令和3年度より櫻川保勝会へ種の調達、講師を依頼している。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○	×	低下		×	×
成果	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持		○	×																			
低下		×	×																			
種まき等限られた時期と、限られたカリキュラムの中で実施するため、学校と櫻川保勝会とよく相談して進めていく必要がある。 地植えや記念植樹を行うための場所の確保が難しい学校が多く、苗贈呈を基本とし、学校が希望をした場合は記念植樹を行う。		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認